

鉢村氏 復興の課題指摘 ニュービジネス協

元日銀福島支店長の鉢村健復興庁政策参与統括官付審議官は24日、福島市で開かれた東北ニュービジネス協議会ふくしま支部の会員交流会で、復興特需で着実な持ち直しがみられる県内経済について「水準の議論ではないことを理解してほしい」などと話した。

会員約80人が出席。鉢村氏は「福島復興の現状と課題」をテーマに講演した。鉢村氏は「着実な持ち直しは、あくまで変化率。先行きの景気の見通しは立っておらず（金融経済概念の）

水準の議論ではない」と持論を展開した。このほか県内経済について「大規模な自然災害後の消費爆発は当たり前前」と指摘し、消費増加がいつ反動減に向かうか見極めが重要などと話した。

南相馬、飯館で 27日に現地調査

復興推進委

平野達男復興相は24日、閣議後の記者会見で、復興推進委員会（委員長・五百旗頭真防衛大学校長）が27日に本県で現地調査を実施すると発表した。委員らが県庁と南相馬市、飯館村の仮役場を訪問。佐藤雄平知事や桜井勝延南相馬市長、菅野典雄飯館村長、商工団体の代表らと意見交換するほか、避難指示解除準備区域の現状を視察する。



福島復興の課題などについて話す鉢村氏